

やつみね通信



Vol.29

2023年11月30日発行



NPO法人八峰会 サービスセンター八峰

〒408-0022 北杜市長坂町塚川175番地2

ホームページ : <http://www17.plala.or.jp/yatsumine/>

FaceBook : サービスセンター八峰

Instagram : yatsu.mine



～ふきのとう（生活介護）完成に向けて～

残暑厳しく長い夏を感じていた今年。でもあっという間にきりっと冷たい空気を感じる季節になりました。残すところ今年も1ヶ月を切り1年の速さを感じています。

暑い夏8月20日地鎮祭、そしてきれいな青空に1本目の柱が映え、八峰の明るい未来を感じた10月17日の上棟式。

お天気にも恵まれ工事も順調に進み、来年の1月末の完成を目指して進んでいます。

完成後は広く明るい居室、車いすでも使いやすいトイレ、手すりがしっかりついた浴室、雨天時でも濡れずに入れる玄関スペース、生活介護サービスを利用される方が安心・安全に日々過ごせる空間がまっています。

パン工房を建て、駐車場の土地購入、本館建設、そしてふきのとう（生活介護）の建設と地域で暮らす障害をもった方々の心地良い居場所として成長してきました。そしてまだ先へ・未来へと続いていくと思います。

～それぞれの自立に向けてともに歩む～の基本理念のもと職員一同力を合わせて頑張っ
て参ります。今後も八峰へのご理解・ご協力よろしくお願ひします。

完成後はぜひお立ち寄りください。

小宮山 明美

設計 河野設計事務所 建設事業者 伊東工務店

本体工事費 40,700,000 円 建物 102.4 m²





イベント再開

(北杜高校フェスタ & ほかほかハート祭り)



コロナが落ち着き、以前行われていたイベントも復活してきました。

10月7日には、北杜高校のフェスタに4年ぶりに参加しました。

北杜高校のフェスタは、今まで行われてきたイベントの中でも特に盛り上がりま
しかし、4年ぶりとの事で以前のような盛り上がりなのか、どれだけ作って販売すれば
良いのかなどとても悩みました。話し合いを重ね、ハンバーガーやシュークリーム・ピザ
小物等以前より販売していたものを今回も販売しました。不安をよそに飛ぶように売れ、12時
半には完売しました。4年前の北杜高校のフェスタと変わらない光景にととても嬉しかったです。
メンバーさんも久しぶりのフェスタを楽しんでいました。

11月1日には、ほかほかハート祭りが行われました。今回は、午後からの開催で場所は
須玉のふれあい館でした。焼き菓子や小物の販売を行ってから各工房の出し物を行いました。ト
ップバッターはしらかば工房で歌を歌いました。2番目はふきのとうでサザエさんの仮装と朗読
を行いました。最後は、すずらん工房でダンスを3曲披露しました。八峰全体で恒例のよさこい
で締めました。コロナ前のほかほかハート祭りとは違った形でしたが、イベントに向けて皆で一
致団結して練習をすることが改めて素晴らしいと感じる事が出来ました。

今年もあと少しで終わりになりますが、来年もメンバーさんと共に楽しいイベントに参加できる
ように日々の作業を頑張っていきたいと思います。

五味 美由紀



『待ちに待った内職作業』

今年で3年目となる横内製麺さんのほうとう作業。8月より内職作業を請け負って毎日みんなで力を合わせて頑張っています。麺の検品から始まり、味噌をセットし、麺のパック詰め、帯巻き、計量、箱詰めと流れ作業ですがメンバーさんそれぞれ各工程を受け持ち、責任持って作業に励んでいます。

丁寧な仕上がりで横内製麺さんからもっと数量を増やして欲しいと言われ嬉しい限りです。

ろすまりんさんの塩の作業も1年中あり、同時進行で進めています。

これからますます忙しくなる内職ですが、メンバーさんがその日にやりたい作業を無理のない範囲で行ってもらえるよう配慮しながら、しらかば工房職員一同見守っていきます。

島 由理



すずらん工房では各部署でみんな忙しく頑張っています。

自主製品部門→長引くコロナ渦の中で、イベントもなく小物も余り作っていませんでしたが、徐々に作り始めフードフィギュアや干支のタペストリーは口ずてで人気になり沢山売れました。

内職部門→桑の実のパン袋・手提げ袋は通年を通して注文があり、忙しく作っても作っても出てしまう様な状態です。みんなの折り上げるスキルもアップしています。

農場部門→岩窪農場・ファーマンに週3農場に行っています。農福連携の活動では農業と福祉ガイドブックという形で岩窪農場(大塚広夫様)で冊子を作ってくれました。メンバーも出来る事も増え、作業スピードも速くなり益々意欲的に取り組んでいます。

これからも日々自分の体調管理をしながら、仕事を頑張っていきます。



浅川さおり



猛暑が続いた夏が終わる頃、

「そろそろだよなー」「今年はどんな作品にしようかなー」「切り絵の仕方の本買って来たよ」「フェルトで、小物入れ作りたい」「マフラーを編みたい」「どんな絵を描こうかなー」「どんな字を書こうかなー」「みんなで作る作品は、どうする？」それぞれの思いが交差したある日のこと……今年も文化展に向けての作品に取り組みました。皆で見学にも行ってきました。あきらめかけていた頃、選抜作品の決定通知がありました。ふきのとうの部屋が笑顔いっぱいになりました。2点の作品が12月初めに県立図書館に展示されることになりました。また皆で見学に行こうねと話しています。

去る10月25日風もなく穏やかな日、みずがき湖にドライブしてきました。モミジの紅葉が美しく、その下でお弁当を食べ、笑顔に包まれたひとときになりました。出掛ける楽しみもこれからは、たくさん作りたいと思います。

障がいを抱えながら、将来の不安を身近に感じはじめている昨今、だからこそ仲間と過ごすその日その日を大切に見守り続けます。

新しいふきのとうの部屋も完成間近です。ご両親、計画相談員さん、そして、それぞれに関して下さる関係者の方々と共に、これからも寄り添い続けます。

奥倉 照子



八峰では、虐待の防止と身体拘束防止に日々取り組んでいます。

8月24日に、山梨県障害者権利擁護センターの専門相談員、坂村裕輔さんをお招きして、「障害者虐待の防止と身体拘束の廃止のために」という題名で、研修を行いました。実際に起きた事例を検討しながら、言葉かけや接し方などを皆で議論し、大変有意義な時間を過ごせました。印象に残ったのは、ご家族に障害者がおられ、身内だけに言葉が感情的になることがあり、同僚から「一步間違えば虐待だよ」と指摘されてハッとするというお話でした。親しき中にも礼儀ありと言いますが、他の人を尊重する姿勢は、家族、職場、立場の上下を相手を問わず、常に心掛けていかなければと思いました。私たち職員は、お互いフラットな関係で、日々起こる出来事や情報を共有し、一人に負担がかからないように、みなで分担し合っています。ご両親、家族の方のご協力、ご支援をこれからもよろしくお願いいたします。何か気になる事がございましたら、遠慮なく職員にお声がけください。

身体拘束廃止への取り組み

令和5年4月より身体拘束廃止が義務化されます。八峰では、虐待防止に加えて、身体拘束についても指針を整備し、身体拘束適正化委員会、研修、記録などに取り組んでいます。利用者さんの権利擁護という視点から、支援をとらえ、夕礼時や気が付いたときに、みなで検討し合っています。

田中 恵子



あたたかいご支援を
ありがとうございます

高根町の
杉江 勇・千恵子様

ソファを寄贈して
いただきました。



小淵沢ベタニア会 様

寄付金 1万円

ベンチを買わせて
いただきます。

苦情・相談件数

6・7・8・9・10月

相談件数 35件

- ・症状のこと
- ・家族のこと
- ・メンバーとの関わりについて

10
月
31
日
(火)



編集後記

直ぐ近くに冬の気配を感じる頃になりました。皆様、お体に気を付けてお過ごしください。

浅川良美

